

# ヨハネス・モザー

〈チェロ〉

# & 菊池洋子

〈ピアノ〉

Johannes Moser & Yoko Kikuchi

# デュオ・リサイタル

Duo recital

新世代のヴィルトワーズ

音楽を広い視野でとらえる柔軟な感性

©Nancy Horowitz

©Matthias Baus

2026

**10/20** 火  **浜離宮朝日ホール**

開演19:00(開場18:30) 〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

[全席指定(税込)] 一般¥7,000 U30¥2,000 [主催] 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール

お問合せ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

チケット  
一般発売

**6/19** 金  
10:00~

Program

シューマン  
幻想小曲集 Op.73

シューベルト  
アルペジオーネ・ソナタ  
イ短調 D821

アルヴォ・ペルト  
鏡の中の鏡

ブラームス  
チェロ・ソナタ  
第1番 ホ短調 Op.38

先行販売 | WEB 5/27(水)12:00~6/10(水)18:00  朝日ホール・チケットセンター

※「会員登録」ボタンからご登録ください

電話 5/30(土)10:00~6/10(水)18:00 朝日ホール・チケットセンター ☎03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)



# ヨハネス・モザー [チェロ]

## Johannes Moser, cello

**ド** イツ系カナダ人チェリスト、ヨハネス・モザーは、英「グラモフォン」誌から「驚くべき若手ヴィルトゥオーソ・チェリストの中でも最も卓越した存在のひとり」と称賛される世界的奏者。これまでにベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロサンゼルス・フィル、シカゴ響、フィラデルフィア管、クリーヴランド管、サンフランシスコ響、BBCフィル、ロンドン響、バイエルン放送響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、チューリッヒ・トーンハレ管、NHK交響楽団など、世界有数のオーケストラと共演。ムーティ、マゼール、ヤンソンス、ゲルギエフ、メータ、ウェルザー＝メスト、ティレマン、ブーレーズ、ネゼ＝セガン、ドゥダメルらの指揮者と共演を重ねている。録音活動も高く評価されており、ドイツ・レコード批評家賞およびディアパゾン・ドール賞を受賞。2022年にはPlatoonレーベルより、エレクトリック・チェロのための新作委嘱作品とチェロ・アンサンブル作品を収めた革新的アルバムを発表した。

近年はアンナ・ソールヴァールズドットイル《チェロ協奏曲(Before we fall)》をサンフランシスコ交響楽団と世界初演、BBCプロムスにてBBC交響楽団とロンドン初演を行うなど、現代作品にも積極的に取り組む。さらにアイスランド響、ヘルシンキ・フィルとの再演のほか、北米各地で協奏曲を演奏。コロナペニコフ、グルツマンとのトリオでも欧米ツアーを展開している。

室内楽奏者としても活躍し、アックス、エーネス、カヴァコス、ミドリらと共演。ヴェルビエ音楽祭、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭など主要音楽祭にも定期的に出演している。

クラシック音楽の可能性を拡張し、現代音楽にも積極的に取り組む存在としても知られる。

新作チェロ作品の委嘱における第一人者として国際的に重要な役割を担い、2011年にはグスター・ボドゥダメル指揮ロサンゼルス・フィルとともに、エンリケ・チャベラ作曲《Magnetar》(エレクトリック・チェロ)を初演。翌シーズンには同楽団とミハエル・ファン・デル・アー作曲《Up-close》を演奏するなど、現代作品の普及に積極的に取り組んでいる。

1979年生まれ。8歳よりチェロを始め、1997年よりダヴィド・ゲリグスに師事。2002年チャイコフスキー国際コンクールで最高位および特別賞を受賞、2014年ブラームス賞受賞。使用楽器は1694年製アンドレア・ガッレリ。



# 菊池 洋子 [ピアノ] Yoko Kikuchi, Piano

**2** 002年に日本人として初めて第8回モーツァルト国際コンクールで優勝。その後、ザルツブルク音楽祭に出演するなど国内外で活発に活動をおこない、いまや人気・実力ともに日本を代表するピアニストの一人である。2022年より毎年夏にJ.S.バッハのゴルトベルク変奏曲の全曲演奏会をおこなうほか、ウィーン国立バレエ団2025-2026シーズンの「マルチヌーのピアノ協奏曲第1番」と「ラフマニノフのバガニーニの主題による幻想曲」を使用した2つのプロダクションにピアニストとして参加することが決まり、合計11公演でウィーン国立歌劇場管弦楽団と共演する。

群馬県前橋市生まれ。田中希代子、林秀光の各氏に師事。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業後、イタリアのイモラ音楽院に留学、ピアノをフランコ・スカラ、フォルテピアノをステファノ・フィウツツィに師事。1997年にミラノでリサイタルを行い、同年のユベール・スダーン指揮、シチリア交響楽団のツアーのソリストに抜擢。ラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を3夜連続演奏してイタリアの新聞紙上で絶賛された。2003年には夏のザルツブルク音楽祭のモーツァルト・マチネに出演、アイヴァー・ボルトン指揮、ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団と共演し成功をおさめた。04年秋にはライブ・ツィンバール四重奏団と日本ツアーを行い、06年にウィーンでのリサイタル、オーケストラ・アンサンブル金沢のアジア・ツアーのソリスト、アフラートゥス・クイントとの共演及びレコーディングに加え、サントリーホール(東京)、ザンシフオーニホール(大阪)、札幌コンサートホールKitaraなど、全国6都市の主要コンサートホール大ホールにてリサイタルをおこない大きな話題を集めた。

その後も、08年にアンサンブル・ウィーン＝ベルリンとの共演、10年にチューリッヒ・トーンハレでのリサイタル、11年以降シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭にたびたび招かれているほか、12年にはイスラエルのエイラット音楽祭出演、ミラノのヴェルディホール、ボローニャのマンゾーニ劇場でのリサイタル、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団と共演。15年ブラハの春音楽祭におけるアフラートゥス・クイントとの共演の様子はチェコ国営テレビで放送され好評を博した。09、18～19年にはモーツァルトのピアノ・ソナタ全曲をフォルテピアノとモダンピアノを用いて演奏する意欲的な企画に取り組み好評を得た。近年ではウィーン・フィルのコンサートマスター、ライナー・ホーネックとのツアーのほか、バレエとのコラボレーション公演に積極的に出演し、世界的バレエダンサー ディアナ・ヴィシニョワや吉田都、上野水香ほかと共演をおこなっている。CDに「ノヴェ・ファンタジー」「J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲」「モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番、第21番」「子守歌ファンタジー」「ベートーヴェン:ピアノ協奏曲全集Vol.1,2」などがある。第1回上毛芸術文化賞(音楽部門)受賞。2007年第17回出光音楽賞受賞。2026年4月より高崎芸術劇場アドバイザーを務める。

## チケット販売所

◎朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00～18:00) <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>  
 ◎イープラス <https://eplus.jp/asahihall/> ◎チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ◎teket <https://teket.jp/9987/70181>

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。【託児のお申込み】イベント託児・マザーズ:0120-788-222

※U30の取り扱い朝日ホール・チケットセンター(電話・WEB)のみ。公演当日に満30歳以下である方が対象。

入場口にてチケットと共に生年月日のわかる身分証(顔写真付き)をご提示ください。

※都合により公演内容が変更となる場合がございます。※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはございませんので予めご了承ください。



## 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
 朝日新聞東京本社・新館2階 TEL.03-5541-8710

### アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線  
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)  
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR(汐留口)  
東京メトロ銀座線(1,2番出口)  
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

## 浜離宮朝日ホール公式



主催公演の最新情報を随時発信しますので、ぜひ「フォロー&いいね!」をお願いいたします!

浜離宮朝日ホール  
 @HamarikyuAH